

1 単 元 見つけよう 家庭生活

2 教科の目標

家族のために取り組みたい調理計画について発表することができる。(生活を創意工夫する能力)

3 ICT活用の観点

分かりやすい発表・表現

4 活用したICT

電子黒板セット

5 ICT活用のポイント

電子黒板の拡大と書き込みの機能を使い、子どもの思いを焦点化し、聞き手にとって分かりやすい発表に近付けることができる。しかし、機器の操作にばかりに意識が向かないように、発表の内容をしっかりと踏まえた段階で機器の導入に心掛けたい。

6 実践の様子

子どもたちは調理実習で、ゆで卵とキャベツ、にんじん、ブロッコリーをゆでた温野菜を作った。料理をデジタルカメラで撮影し、ワークシートにまとめ、学習の振り返りを行った。さらに、家族のために家で作りたい料理の調理計画を立てた。

(資料①)

新たに立てた調理計画を家族に伝えるため、家族を学校に招いて発表活動を行った。子どもたちは、拡大投影したワークシートを、電子黒板の機能を使って、伝えたいところを拡大したり、書き込みを加えたりして、家族の前で自分の思いを伝えることができた。

振り返りでは、「電子黒板があるから自信をもって発表できた」「あらかじめ伝えたい内容がはっきりしていたから堂々とできた」という意見が聞かれた。

発表後、家族の方にアンケートに答えてもらった。「子どもの家族に対する優しい思いが伝わってきて、とても感動した」という意見が多くあり、子どもたちが伝えたい思いが家族に伝わった。また、家族の方々が、子どもの発表に熱心に耳を傾けていた姿も印象的だった。

7 成果と課題

- 電子黒板の機能によって、子どもの思いを焦点化することができたことで、発表者は自信をもって発表でき、聞き手も聞いていて理解しやすく双方が楽しい発表活動となった。
- 電子黒板の操作に意識がとられ、話すときに背を向けたり、下を向いたりしてしまう子どもが見られた。今後は、電子黒板を使用している間、前を向いて堂々と発表できるような手立てを考えていきたい。



資料① 子どもがまとめたワークシート



資料② 電子黒板を使って発表する子ども